

— コンベンション誘致事業 —

日本分類学会連合公開シンポジウムにブース出展

1月9日に国際科学博物館新宿分館で開催された「第9回日本分類学会連合公開シンポジウム」の会場の一角をお借りして当協会などがブース出展しました。日本分類学会連合は日本国内の生物の分類に関わる学会の連合組織であり、日本昆虫学会など25の学協会が参加して組織運営されています。松本では生物学系の学会は開催件数が少ないため、情報収集と宣伝のよい機会と考え参加しました。

今回の出展は新潟、びわこ、高松など6地区が合同しておこなったもので、シンポジウム終了後に開催された懇親会においては地酒コーナーを設営させていただきました。当日は、25の学協会から約60名の方々が出席されましたが、シンポジウムの休憩時間を中心に資料を配付したほか、懇親会では地酒を媒介にして情報交換と情報発信をスムーズにおこなうことが出来ました。長野県内から当連合に参加している学会の主催者は特別多いわけではありませんが信州大学理学部、農学部などに関係者がおられますので、今後は各先生の専門分野とともに分類学についても視野に入れたアプローチをおこなっていきます。また当連合とは一層の信頼関係を築きあげ、理事会などでのプレゼンテーションの実施、懇親会での抽選会などの実施に繋げ、当分野の学会に浸透して情報収集と関係構築を目指します。

自然環境に恵まれた松本市は生物学系の学会参加者にとっては魅力がある地域かと思われれます。当地で学会が開催されるよう今後もセールス活動を続けます。



地酒コーナーで和やかに情報交換

信州デスティネーションキャンペーンに向けて対策会議を開催

本年10月から12月まで長野県全域を対象とした「信州デスティネーションキャンペーン」(通称:信州DC)が実施されます。当協会ではこのキャンペーンをより効果的に展開出来るよう対策会議を開催しています。当会議は昨秋10月から12月末まで実施されたプレ・キャンペーンの経験を参考に、当協会会員である市内の各地観光協会と宿泊関連団体を中心に構成して12月に初めて開催。1月22日にはキャンペーンを連携して実施するJRグループから松本駅長をお招きして2回目の会議を開催しました。協議の結果、当協会では松本市内各地で実施される独自の企画を網羅した松本版の「信州DCの企画」をまとめた冊子を作製し都内の県観光情報センター、東京駅・新宿駅の観光案内所、当協会の福岡営業所、旅行会社、報道機関、各種観光キャンペーンなどで利用することになりました。今回の信州DCは、「未知を歩こう信州」というキャッチフレーズのとおり、単なる観光地の宣伝に止まらず、知られざる信州の魅力を掘り起こし、磨き上げるとともに、いかにその地域で楽しめるかを伝えることが求められています。この冊子はそうした観点から、従来、当協会が

作製していた「イベントガイド」と「Welcomeキャンペーン」の情報に加え、キャンペーン期間中の特別企画等も盛り込んだものです。また当協会では観光客と市民への事前周知の手段としてキャンペーンの「のぼり旗」を200枚購入して市内各地の観光協会、旅館組合などに配布し機運の熟成をはかっています。

観光キャンペーン報告 — 札幌 —

2月5日に信州まつもと空港の就航先都市である札幌市で開催された「第61回さっぽろ雪まつり」の開会式でミス松本がステージ上から松本をPRしました。これは札幌市が親善交流を深めるために「さっぽろ雪まつり」の公式行事に全国各都市のミスあるいは親善大使を招いたものです。

また開幕前日の4日には札幌市内のホテルで開催された「歓迎レセプション」においてミス松本が観光PRをしたほか、現地の報道機関を訪問。記事を掲載していただきました。



「さっぽろ雪まつり」でミス松本が松本をPR

1月の就航都市誘客宣伝事業
札幌、福岡で営業活動

11日から15日まで札幌市、また26日から28日まで福岡市において旅行代理店、報道機関、行政機関などを訪問し信州まつもとと空港の利用促進及び来年度の旅行商品造成をお願いしました。特にJAL撤退後の6月から就航するFDAによる札幌線および福岡線継続のご案内をしました。今後は運航に関する情報収集とともに就航先都市のエージェントや関係団体へ随時、情報提供をおこない商品造成や利用促進を働きかけます。

都営地下鉄で松本を宣伝

— 都営地下鉄浅草線、三田線の車輦にステッカー貼付 —

首都圏の幅広い層に対して松本の観光の魅力をPRするため、都営地下鉄浅草線および三田線の車内に宣伝ステッカーを貼付しています。掲出期間は昨年の12月から今年の5月末日迄で、ステッカーは松本の冬と春を図案化したものです。具体的には、冬はスキーと温泉、春は桜と松本城、中町通りをイラストで紹介しています。なお、浅草線、三田線は一日平均合わせて約220万人の方々が利用されています。



ステッカーは車輦連結部の窓に貼付されている

インターネットホームページ公開しました。

アドレスは<http://www.matsumoto-tca.or.jp/>